

I 第50週の発生動向 (2014/12/8~12/14)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の58人から183人に増加しました(県内においても流行シーズンに入りましたので、2014/15シーズンの「V 県内インフルエンザ情報」を掲載開始します)。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で第45週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の227人から271人に増加しました。
4. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第47週から**警報**が継続しています。

II 第50週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科																			
(90) インフルエンザ	11	0.9	7	0.5	65	4.3	23	3.3	76	8.4	1	0.2	183	2.8	125			11	0.9
(79) RSウイルス感染症	27	3.4	22	2.4	13	1.3	2	0.4	13	2.2	3	0.8	80	1.9	7			27	3.4
(80) 咽頭結膜熱	3	0.4	19	2.1	4	0.4					1	0.3	27	0.6	2			3	0.4
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.3	4	0.4	17	1.7			4	0.7	2	0.5	37	0.9	1			10	1.3
(82) 感染性胃腸炎	63	7.9	65	7.2	49	4.9	21	4.2	59	9.8	14	3.5	271	6.5	44			63	7.9
(83) 水痘	2	0.3	3	0.3	5	0.5			9	1.5	10	2.5	29	0.7	0			2	0.3
(84) 手足口病					1	0.1							1	0.0	-2				
(85) 伝染性紅斑	3	0.4	3	0.3	44	4.4			3	0.5			53	1.3	28			3	0.4
(86) 突発性発しん	4	0.5	5	0.6	4	0.4	1	0.2	3	0.5			17	0.4	-2			4	0.5
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ															-1				
(89) 流行性耳下腺炎			1	0.1									1	0.0	-3				
眼科																			
(91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎	2	1.0	1	0.3	1	0.5	1	1.0					5	0.5	1			2	1.0
基幹																			
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															-1				
(100) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					4	4.0	6	1.0	5				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)					3	3.0			6	6.0			9	1.5	0				

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、弘前1人、五所川原4人、上十三1人 (2014年計:361人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2014年計:2人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

インフルエンザ (五類定点把握疾患)

2014/15シーズン

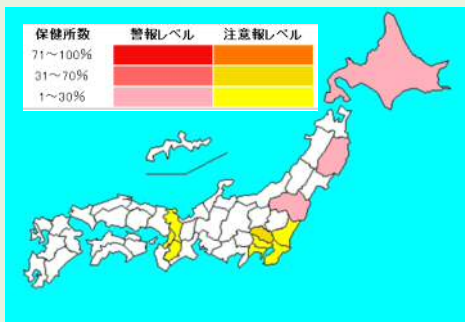


図1 全国の注意報・警報マップ (2014年第49週)

厚生労働省は12月5日に、定点あたり報告数が流行開始の目安である1.00を上回り、インフルエンザの今年の流行シーズン入りを発表しましたが(第48週)、昨年よりも3週間早い時期の流行入りです(【参考】2013年:第51週、2012年:第50週、2011年:第49週、2010年:第50週)。全国の保健所地域で警報レベルを超えているのは3道県であり、注意報レベルを超えている保健所地域は10都道府県(第49週現在)でした(図1)。本県においては例年12月から流行が始まり、1月から報告数が急激に増加し、1~2月にピークが見られますが、今シーズンは第50週に183人の患者報告があり(定点あたり報告数2.8人)、流行シーズンに入りました。今後の発生動向に注意が必要です。なお、迅速キットによる型別は今のところA型が優勢です。

予防対策として、流行前には、ワクチン接種、流行期には、人混みを避ける、マスクの着用、咳エチケット、外出後の手洗いの励行、などが大切です。予防接種には、発症をある程度おさえる効果や、重症化を予防する効果があるとされています。

詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・厚生労働省インフルエンザ対策ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>)
- ・青森県「インフルエンザに注意しましょう！」 (http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/seasonal_flu.html)



出典: 厚生労働省

V 県内インフルエンザ情報

第50週の患者報告数は、183人で、迅速診断キットによる型別はA型168人、B型2人、不明13人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	44	45	46	47	48	49	50
保健所名							
東地方							
弘前							7
八戸					1	22	65
五所川原						1	23
上十三					1	32	76
むつ				2	2		1
青森市	4		1		1	3	11
合計	4	0	1	2	5	58	183

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50
保健所名							
東地方							
弘前							7
八戸					1	21	54
五所川原						1	22
上十三					1	32	74
むつ				2	2		1
青森市					1	3	10
合計	0	0	0	2	5	57	168

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50
保健所名							
東地方							
弘前							
八戸						1	1
五所川原							1
上十三							
むつ							
青森市	4		1				
合計	4	0	1	0	0	1	2

年齢区分別(人)

週	44	45	46	47	48	49	50
～5ヶ月							
～11ヶ月						1	1
1歳						4	3
2歳							5
3歳						1	9
4歳						3	8
5歳						4	12
6歳					1	9	12
7歳						5	11
8歳						6	15
9歳						7	13
10～14歳	2				1	9	46
15～19歳							19
20～29歳			1		1	1	2
30～39歳				1	1	1	5
40～49歳	2				1	3	7
50～59歳				1		1	7
60～69歳						2	4
70～79歳						1	3
80歳以上							1

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第34週～第50週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30	侵襲性肺炎球菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
49	H26.12.1 ~ H26.12.7	つつが虫病1人	急性脳炎1人			腸管出血性大腸菌感染症3人	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2014年第40週～第50週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	4	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	2	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	3	1		
48	H26.11.24 ~ H26.11.30		4	2	1		
49	H26.12.1 ~ H26.12.7		1			1	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14	2	1		4	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第48週累計)

分類	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エネコックス症	オウム病	回腸熱	Q熱	コクサチウイルス	重症熱性血小板減少症候群	チンギア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボリビア症	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	23732	4	141	3973	52	15	125	421	18	8	1	1	1	58	12	224	328	231	2	10	1	57	1	16

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アマーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	播種性クリプトコックス症	薬剤耐性アシネバクター感染症	ライム病
累積報告数	1121	46	1014	208	406	98	158	251	1388	59	178	33	1561	9	1502	120	47	314	459	213	97	17	12	

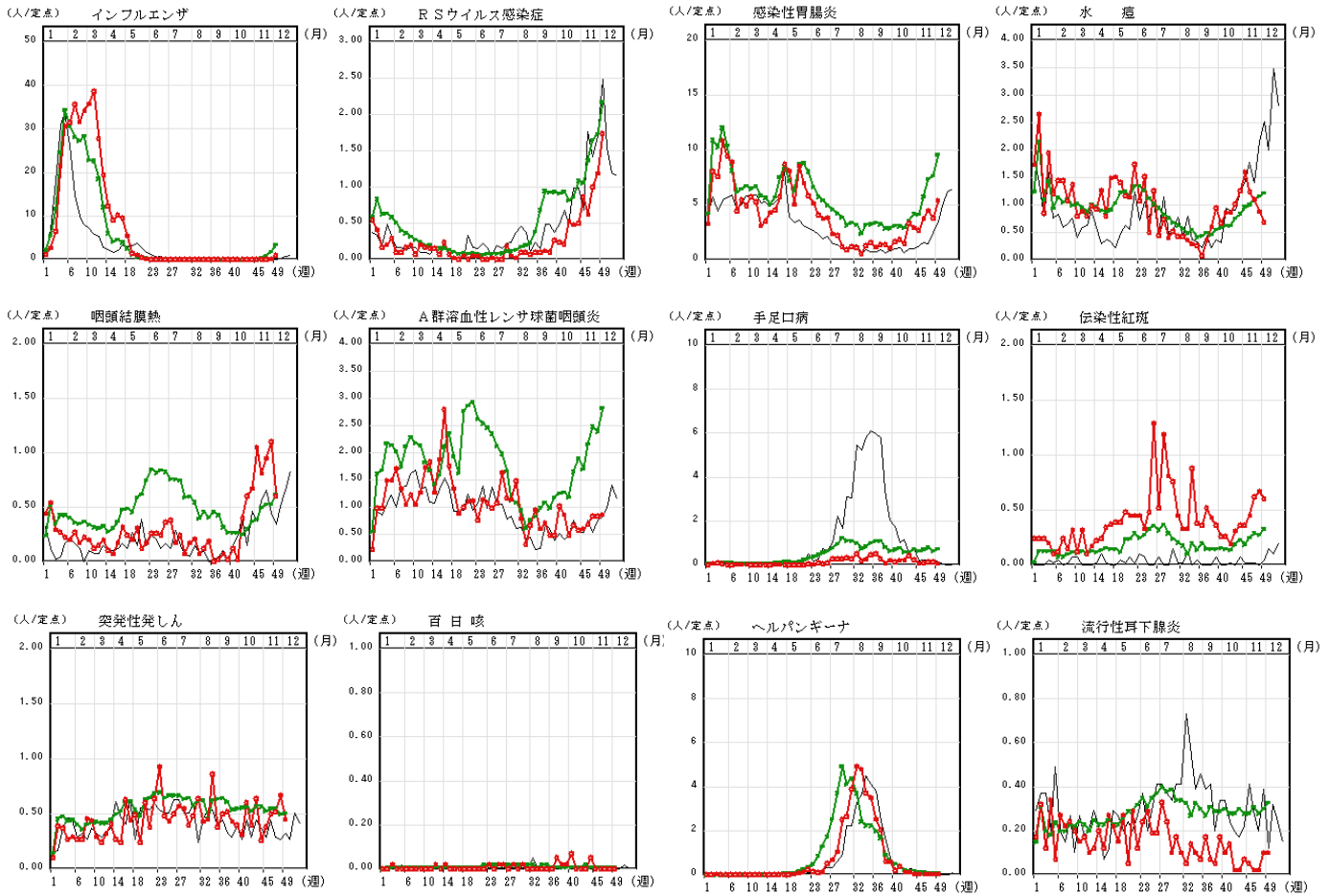
青森県

(2014年第1週～12月16日9:30累計)

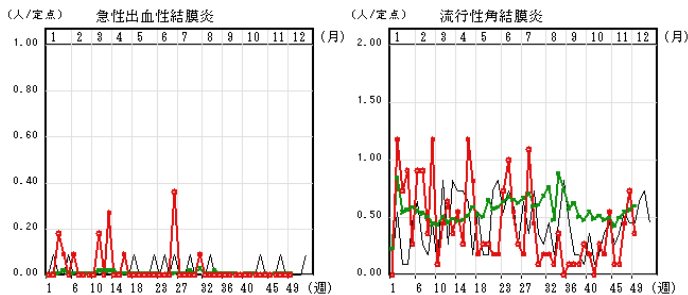
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アマーバ赤痢	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			
累積報告数	361	24	2	4	13	1	3	1	6	11	10	1	2	4	1	1	7	4	1	2			

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第49週)

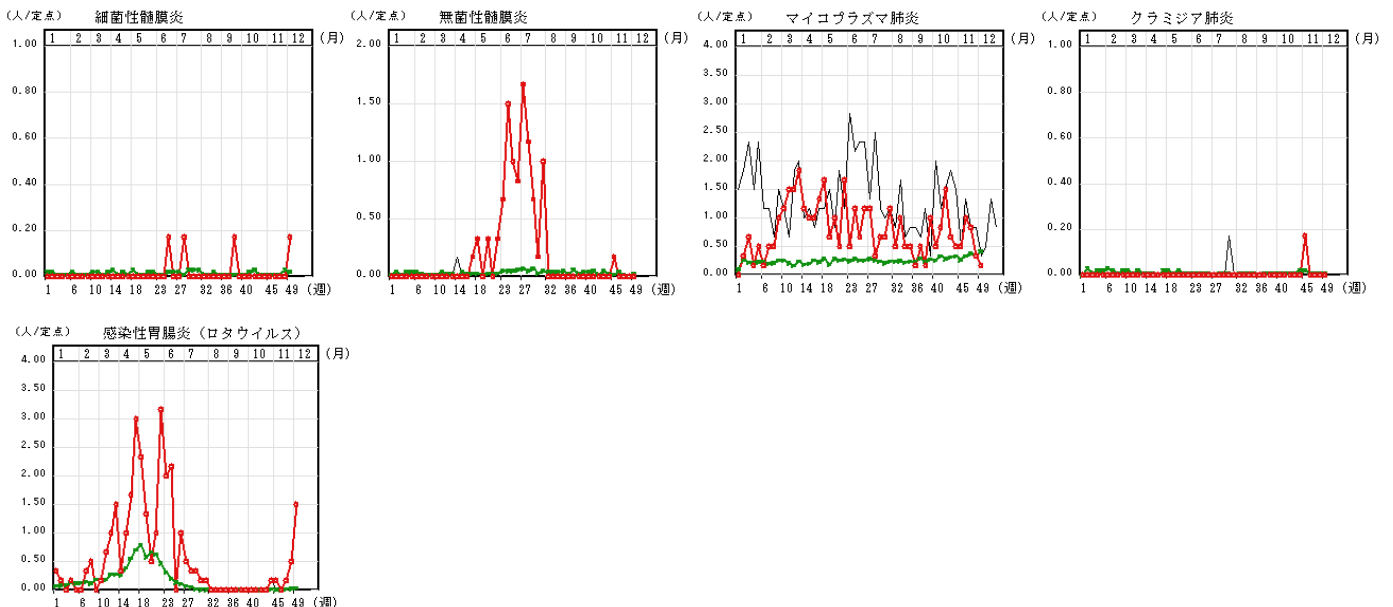
グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第49週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第49週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第50週はありませんでした。

平成26年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
障害関係施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
その他施設	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
計(月別)	件数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	発症者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0